

Title	利用学生の声 サイバーメディアフォーラム no.11 情報教育システム
Author(s)	
Citation	サイバーメディア・フォーラム. 2011, 11, p. 36-38
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/70302
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

利用学生の声

わたしは、正直パソコンを使うことに苦手意識をもっています。レポートを作成するために Word を使用したり、メールを送信したり、インターネットを使用したりということはできますが、授業で習ったプログラミングやインターネットの仕組みについてはサッパリでした。数学が嫌いということが影響しているのか、特にプログラミングの授業では苦勞しました。しかし、この授業を受けることによって、自分もやればできるんだという自信が付き、苦手意識が少しだけ薄れたと思います。

情報教育センターのパソコンは無料で利用できる上、レポートなどの製作物や自習の際にわざわざ家に帰らなくても気になったそのときに活用できたので非常に便利でした。要望などは特にありませんが、強いて言うなら学内のパソコンで VineLinux が入っている方と入っていない方のパソコンで、どちらを使っても入っている方と入っていない方の中身をどちらも使えるならば、どうすればそうできるかのやり方を Q&A に書いておいて欲しい（もしもう書いてあればすいません）のと、できないのであればそうできるようにして欲しいです。

情報活用基礎の授業を受けて一番心に残ったのは、HTML によるホームページ作りでした。高校までの授業では一度も習ったことがなく、初めてのことだったので、少し戸惑うこともありましたが、楽しんで取り組むことができました。自

分の思うようにホームページができた時はすごくうれしかったです。一番難しかったのは Linux のコマンドで、先生の指示についていくだけで精一杯でした。今後に授業で学んだことを活かしていけたらいいなと思います。

センター内外に、個人的に利用できる部屋や日付を掲示してもらえたことで、大学で作業しなければならない時の予定が立てやすかった。授業では、このウェブメールや KOAN, WebCT など、思ったよりも使いやすく、パソコン作業に慣れていない私でも有効利用できたと思う。また、授業の中で大阪大学の図書館利用というテーマを扱っていたのが新鮮だった。最も私にとってありがたかったのは、図書館の蔵書検索システムだった。目的の図書を簡単に探すのみならず、有るか無いかを調べるだけでも非常に作業効率が上がっていたと感じる。

まだ情報教育システムの利用から半年ほどしかたっていないので、利用方法もいまいよく分かっていません。けど、パソコンが常に使える状態でたくさん設置してあるので、便利だと思います。授業では自分からは絶対に学ぼうとは思えないプログラミングなどについて知れたので新鮮でしたが、難しくてよく分らない部分も多かったです。

大学にいる間に、パソコンでインターネットやマイクロソフトを使えるということが非常にありがたく、大学生活の助けになった。しかし、自分が使おうと思った時に空いているパソコンがなかったり、使用可能時間外だったりということが頻繁にあった。だからパソコンの台数を増やすとともに、サイバーメディアセンターの使用可能時間

をもう少し長くしてほしい。又、パソコンを使用していないのにパソコンの前に座っている人がいたので、使用しないならパソコンをあけるように注意を促す掲示などが欲しいと思った。

中学高校の情報の授業での設備とは違い、自由に使えるので、ちょっとした調べごとにも簡単にでき便利です。なので講義のない時間には気軽に利用することができます。また、大学の KOAN といったシステムや講義の課題の提出、そして講義資料の閲覧ができることもでき、非常に大学生活を補助するものとして活用することができます。

私が授業以外でサイバーメディアセンターを利用したのは、主に「情報活用基礎」の課題や授業のレポート作成のためでした。そのため情報教育システムをあますとこなく利用したかということ、あまりそうではないかもしれませんが、まず有難かったのはコンピュータの多さです。教室が空いている時は、満席で使えないということがほとんどなく、大抵利用できたので助かりました。ただ、利用可能時間については、もう少し幅があったほうが嬉しいです。特に、土曜日サイバーメディアセンター(授業で使う方の棟)を 8:30 からあけてくださると、大変便利だと思います。土曜日には教職の授業もありますし、サークルや部活活動も多いですから、それなりに利用数は見込めるのでは…と思います。

情報活用基礎の授業内容は、充実していて満足できました。メール・Excel・ホームページ作成などはほぼ既習の内容でしたが、UNIX やプログラミングはほぼはじめての経験で、学ぶところも多かったです。要望としては、UNIX の説明項目が

多すぎて、1つ1つにかかる時間が短くなって、わかりにくくなっている印象があったので、もう少し初歩的な項目に絞ってほしいということと、WebCT の挙動にかかる時間が長すぎるので、できればもう少し改善してほしいということです。

サイバーメディアセンターは、夏休みでも空いているので、よく利用している施設です。空調設備が整えられ且つ静かであるので、施設内は長時間過ごすにしても快適な環境です。また、施設内のコンピュータの働きは、大変スムーズであることが、大いに私にとって役立っています。ただ一点気になることは、授業があるときには、施設内のコンピュータの使用率が容易に 100%になり、使えないことが多いことです。

サイバーメディアセンターは、授業で使っていない時に自由に使い、設備も整っていたのでとても便利だと感じました。図書館にあるパソコンは、利用者数が多いので使えない時も多くあり、KOAN や WebCT を確認したいが図書館のパソコンが使えないときにセンターを利用できてとても助かりました。また、Web メールも、自分のパソコンではまだメールの設定をしていないので、とても役に立っています。

サイバーメディアセンターは、講義で利用するほかに、個人的に課題を準備、提出したり、WebCT を見たりと様々な場面で利用しました。開いている時間にはいつでも利用でき、またパソコンの数も多いので混雑することもなくて便利でした。しかし、17時以降にももう少し開いているともっと利用しやすくなると思います。また開いているはずの時間に閉まっていることがあったので、その

ような場合は貼り紙か何かをしてもらえるとありがたいです。加えて、校外のパソコンで WebCT が開きにくいのは、なぜでしょうか。

高校の授業でパソコンに触れる機会や普段の生活でパソコンを利用することもあったけれど、もともと私はパソコンに関してあまり知識がなかったので、サイバーメディアセンターの情報教育システムは、自分にとってとても有益なものだったと思う。大学に入った当初はパソコンの苦手な私は、授業でパソコンを利用しなければいけない機会が増えることでいろいろと戸惑うこともあったが、以前よりはその苦手意識が消えたように思うし、これからはもっとパソコンを使えるようになりたいと思えるようにもなった。自宅にパソコンがあるのでサイバーメディアセンターを授業外で利用する機会は今まででそこまで多くはなかったけれど、これからはもっとこのシステムをうまく活用していければと思う。

大学の情報活用の授業で初めてプログラミングを学習した。しかし、その内容は私にとってたいへん難しいものだった。そもそもプログラミングがどのようなもので、どのように利用しているかさえよくわかっていなかった。しかし、コンピュータが必須となったこの現代社会においてプログラミングというものがあらゆる場所で重要な役割を担っていることはわかる。現代社会に生きる人間として、そのほんの一部でも知るということは、必然であり大切なことなのだと思う。完全に理解できたわけでも、使いこなせるようになったわけでもないが、この授業でプログラミングについて知ることができたのはよかったと思う。

授業のレジュメをパソコン上で見るだけでなく、中間、期末試験の問題までパソコン上で発表され、マウスで操作しながら試験をこなすという徹底ぶりがとても新鮮でした。実技（ホームページ作りとか）もあり、筆記試験もあり、難しいところもあったけれど、大学で学ぶ上で役に立つ、充実した内容でした。ただ、パソコンがすぐに動かなくなってしまうことが度々あり、課題をすべてこなすことができないときもあったので、そのようなトラブルをなくしてほしいと思いました。
